新緑



新沢あけみニュース 平成30年11月号 No. 2

日本共産党高取支部発行

高取町議会議員 新沢あけみ
TEL 0744-52-4408 携帯 090-7870-7148
http://jcp-takatori.sakuraweb.com/
メール akemi03170@icloud.com



#<u>}</u> [P [■





実りの秋です。わが家で は、おいしい新米をいただ きました。

稲刈りがおわり、ホッと 一息していますが、この先 いつまで作れるのかなとい う思いは、私だけではない でしょう。

次の世代へ田や畑を引き

継げるよう、気概を持って!

9月議会 まとめ作成

10月の新沢あけみの主な活動

あけみ ニュース作成 議会だより 作成、編集会議 「憲法9条を守る」「核兵器廃止」署名の取 り組み

9月議会 この議会の一番のニュースは、幼稚園にエアコン設置。小・中学校にエアコン設置の工事設計の補正予算専決です。国会、県会、町議会で何度も取り上げてきたことがやっと実現へ関係者の皆さんご苦労様です。

自治体キャラバン

10/17

毎年、県内の多くの団体と一緒に、行政全般わたる内容について町と懇談をしています。とりわけ、国民健康保険の保険料が2024年から県内で統一される予定で、高取町は105.84%の伸びが見込まれており、保険料の滞納者や病院へ行けない人がもっと増えるのではないか心配です。保険料を引き下げるために、国庫支出金を元通りに引き上げること、県が補助すること、町の国保基金を取り崩すことなど要請しました。 税金は 命とくらしのために!

学校給食を補助している市町村は県内で21、 わが町でも ぜひ実現を



さつま芋堀り

筋肉ムキムキの大きなさつまいもが沢山取れました。孫にとっては、片手で持てる小さな芋がお気に入りの様です。

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぶ

い赤旗

日 刊**●**月 **3497**円 日曜版**●**月 **823**円

国民救援会の会合に参加 10/7

国民救援会とは、1928年に結成された人権団体で、戦前は、治安維持法の弾圧犠牲者の救援活動を行い、これまで、名張毒ぶどう酒事件、東住吉事件、袴田事件など冤罪犠牲者を救う取り組みをしています。この日は、冤罪事件のTV D VDを見て、話し合いが持たれました。冤罪を生む大きな要因は、取り調べにおける自白を証拠としてきたことにあるといわれています。そこで、長い運動によって、現在、録音・録画による可視化が始まりましたが、一部だけの可視化は、また冤罪を生む要因ともなっているということでした。高取町議会でも、すでに可視化の意見書を採択しています。



国道169号高取バイパスの工事現場と掘削に よって出た岩くずの集積所である健幸の森公 園計画地を、視察しました。清水谷トンネル は、来年1月に完成の予定です。開通までは、 もう少しかかるようです。



10/6、10/7 秋祭り

6日には、だんじりが巡行されました。これは、20数年前に皆で寄付を募り、地元の大工さんや鈑金やさん機械やさんに作ってもらった自慢のだんじりです。



7日には、提灯を先頭に伊勢音頭を唄ってお 宮さんに向かい、ごくまきがありました。今 年は、1石8斗のもちです。いっぱい拾って帰 りました。 御利益ありますように。



奈良県福祉医療部長 林 修一郎 様

風疹患者の拡大を防ぐための対策を求める要望書

2018年10月19日 日本共産党奈良県会議員団 県会議員 山村 幸穂 県会議員 今井 光子 県会議員 小林 照代 県会議員 宮本 次郎 県会議員 太田 敦

大和郡山市議会議員 北野いつ子

風疹患者が千人を突破し昨年の12倍になり大流行が懸念されています。国立感染症予 防研究所によれば流行はすでに40都道府県に及び、全患者数のうち男性は916人、女 性は187人に上っている。患者は特に30~50代男性に多く、ワクチンの接種歴「な し」や「不明」が多いとされています。

現在は男女ともに幼児期に風疹ワクチンの定期接種が行われています。しかし国は当初、女性だけをワクチン接種の対象としており、昭和54年4月1日以前に生まれた男性は、接種機会がありませんでした。そのため95%以上が望ましいとされる抗体保有率は30代後半~50代男性で、7~8割にとどまる状況です。

風疹は妊娠初期の女性がかかると、赤ちゃんに難聴や心臓病などの障害が起きる恐れがあります。厚生労働省は今月2日、風疹の流行が続く東京、神奈川など5都県に対し、妊娠を希望する女性や妊婦の周囲家族に、抗体検査を推進するよう通知。適切なワクチン接種の実施を呼びかけています。

奈良県においても県民に呼び掛け風疹ワクチン接種を進めるよう要望します。

- 1、 奈良県の現状を明らかにしてください
- ワクチンが不足して海外波航者しか接種ができない実態です。国にワクチンを増 やすよう働きかけてください
- 3、30代から50代の男性に対して危険性を周知してください。
- 県で行っている抗体検査無料制度をもっと広く知らせてください。
- 5、 抗体検査やワクチン接種に県として費用の一部軽減を行ってください。
- 職場検診で抗体検査ができるように各企業に働きかけてください。

10月19日、日本共産党奈良県会議員団で「風疹患者の拡大を防ぐための対策を求める要望書」を県に提出しました。

風疹の流行が懸念されており、 ワクチンの接種など周知徹底が 求められています。左記の内容 で申し入れを行いました。

